

## 非常事態宣言解除後の活動～西支部～

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除されたことを受け、約1年半ぶりに西支部の活動を再開しました。

各校区自治協議会等の依頼を受け、11月6日(土)福重公民館でHUG、11月9日(火)今宿公民館で防災講演、11月13日(土)姪北公民館にてDIGを行いました。

今宿公民館の防災講演は、校区が広く海岸線沿いから山間部にいたる様々な地形を含むことで津波、水害から土砂災害にいたる種々の災害に対する住民関心が高く、発災前や発災時の心の準備について講演を行いました。福重公民館のHUGでは、従来と異なりメインファシリがカードを読み上げ、すべてのテーブルで同時進行する形で行いました。討論会では、テーブルごとの問題点がおおよそ一致する傾向が見られ、全体的に進捗に時間がかかる傾向が見られました。このことは、各テーブルで種々の問題を抱えた避難者に対して十分な議論が行われたためと考えられます。姪北公民館のDIGは、校区の構成が比較的古い町内で構成されているためか、居住している地域については十分な知識が見られたものの、隣接する他の町内や校区についての知識に不足が見られました。構成メンバーの年齢によるフットワークの軽さが異なるため、構成メンバーの若年層化が今後の課題となるようです。



(西支部長 正本 博士)

## トピックス ～これからの活動にご興味がある方は事務局までご連絡ください～

### \*各種講座の活動状況(12月末現在の開催数)

<出前講座>4回 <地域活動アドバイザー>10回 <単独事業>7回 合計21回  
コロナ禍のため前半は依頼が低調、緊急事態宣言解除後は少しずつ増加傾向です。

### \*防災フェア(福岡市発表 入場者数3000人)

例年福岡市総合防災訓練を実施していましたが、今年は市役所西側広場で「防災フェア」を開催しました。リーダー会もブースを出店し会員27名が参加。約400名の方々に日頃の備えや、紙芝居、腹話術、パペットによる防災意識向上のため活動を実施しました。

### \*各部会状況

研修部会：研修会開催 46名参加 11月28日(日)15:30～16:30 於：あすみん  
活動部会：16期生、17期生研修会 1月23日(日)10:00～12:00 於：あすみん  
企画部会：みんなで防災2022開催予定 3月20日(日)13:00～17:00 於：新天町サンロード

### \*博多あんあんリーダー会17期生入会状況

東支部：10名、博多支部5名、中央支部5名、南支部8名、城南支部2名  
早良支部：8名、西支部6名、市外会員1名 計45名

### \*令和4年度定期総会 5月22日(日)14:00～16:00 詳細は後日連絡

(事務局長 平山 光典)

**編集後記** 各支部広報部員の皆様のご協力をいただきまして、あんあん通信も今回で40号を迎え、発行に至ることが出来ました。ご協力誠にありがとうございます。  
コロナウイルスに関しても執筆時の12月末時点では落ち着いていることもあり、各支部の活動も活発化して参りました。皆様の更なるご活躍を期待しております。  
記事についてのご意見ご要望などございましたら、各支部広報部員を通じてお伝えください。  
(広報部会長 松本 一郎)



博多あん通信

発行元  
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会  
連絡先  
〒812-0882  
福岡市博多区麦野5丁目22番6-505号  
代表幹事 小森 勝輝

2022年(令和4年)

1月1日号

<No.40>

## 祝防災士功労賞受賞のご報告

11月5日(金)特定非営利活動法人日本防災士機構の2021年防災士表彰「防災功労賞」を受賞いたしました。(令和3年6月23日付認定)

本来であれば授賞式は東京にて行われるのですが、コロナ禍のため会長・事務局長が福岡市ボランティアセンターあすみんを訪れ、賞状と副賞(10万円)を手渡しされました。

振り返りますと、リーダー会設立時は、防災士の資格を取ったが地域防災力向上と言う目的に対して自分たちに何ができるのか、如何したら伝わるのか、技術も手段も手探り状態で、無力感が焦りと不安を招き、会員間もギクシャクした期間がありました。

設立当初は、読売新聞西部本社様のご厚意で西部本社内をリーダー会の事務局として、電話・FAX・PC等配備させていただき、リーダー会の問合せ先として博多支部の岩佐さんに詰めていただきました。しかし、無名なため、問合せや講座の要請などはほとんどありませんでした。

そこで、主たる活動として「読売防災セミナー」の補助として受付やグループワークのテーブルファシリを担当し、地域セミナー講座を3年間続けましたが、主体性がなく、また読売新聞社の看板から「リーダー会=読売新聞」の構図を嫌がる地域もあり、継続ができなくなりました。

次に平成23年から福岡市防災危機管理課と共働事業を行い、「ジュニア防災士養成講座」や「地域みんなで防災力向上事業」を実施し、現在の活動の原型ができました。

その後、知名度が少しずつ上がり、県教育委員会・県防災危機管理課と福岡県からも徐々に講座の依頼が来るようになりました。

内閣府の防災講座を担当した後に、那珂川町(現、那珂川市)防災課からも依頼が来るようになり、福岡都市圏に名が広まり、福岡県や福岡管区気象台より表彰されたことで、減災啓発活動団体と認知され、現在では福岡市地域防災計画書の災害予防計画に行政のパートナー団体として記されています。これもすべて会員みんなの本当に地道な努力と行動力の賜物です。

また、災害ボランティアとの連携では、ボランティアに参加したい方の相談コーナー・ボラバスの同行支援など、一貫して後方支援を担当し、サポート体制を確立いたしました。

その間、日本防災士会からは「リーダー会は無縁団体」として認知されていなかったため、今回の受賞はとても意味深く、やっと防災士会が認めた団体になれたと喜びもひとしおです。これからも引き続き地道に地域密着型の減災啓発活動を続け、地域防災力向上を図りましょう。

博多あん・あんリーダー会  
代表幹事 小森 勝輝



## 福岡市防災フェアへの参加報告

令和3年11月6日（土）に福岡市主催の防災フェア（市役所前広場で開催）にリーダー会も参加しました。当日は防災啓発・備蓄の案内で57ブースが出店し、3,000名以上が来場。



リーダー会も各支部の皆様にご協力いただき防災紙芝居、防災パペット、防災腹話術と非常持出品展示を行い400名以上の方に来ていただきました。

来場者も防災意識の高い方が多いイベントでした。

（企画部会長 吉田 博則）



## こぶた座

各支部の有志がパペットを使い活動をしているこぶた座のメンバーは、舞台の準備と非常持ち出し品ゲームへの参加呼びかけの為に朝から集合。ところが、思いがけず小さな子ども達の来場が多く、急遽午前中も上演することとなりました。

午前2回、午後2回の出演でクタクタでしたが、子ども達の拍手は嬉しかったです。コロナ流行以前の「避難所へ行こう」から、今は「できるだけ在宅避難しよう」という呼びかけは変化しています。こぶた座の台本もそれに合わせて、変えていかなくてはと話しています。



（城南支部 則松 淑子）

## 紙芝居

南支部では、防災紙芝居「稲むらの火を消すな」を公演しました。1854年安政南海地震津波で、多くの村人を高台へ避難させて命を救う瞬時の行動を実践した「浜口儀兵衛」の実話です。観覧のお子さんやその父母の方々が、防災に関心をもち自分の命を守る事を忘れないでほしいと思います。

（南支部 堀田 純子）



## 腹話術

東支部は、久しぶりに「さくらちゃんの防災腹話術」を披露しました。地震、津波、台風と言っても小さい子には分かりづらいので、ジシンジャー、ツナミジャー、タイフージャーと怪獣に見立て、イラストを見せながら行いました。さくらちゃんの声や動きにも素直に反応してくれました。

子供達の輝いた目がとても印象的で公演して良かったです。

（東支部 山本 十夢）



## 令和3年度研修会を開催



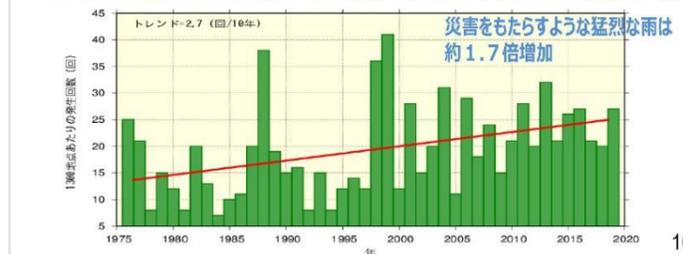
### 命を守る防災チェック 一線状降水帯の情報を含む 防災気象情報の利活用について

講師 福岡管区気象台  
福永 信悟 氏

11月28日（日）あすみんセミナールームにおいて、福岡管区気象台 予報課 防災気象官の福永信悟氏を講師にお迎えし「命を守る防災チェック一線状降水帯の情報を含む防災気象情報の利活用について」をテーマに、研修会を開催しました。

冒頭に正本博士研修部会長の挨拶があり、続く福永氏の講演では、動画やグラフを用いて最新の気象情報を分かりやすくご説明頂きました。特に、浸水や土砂災害を起こすような雨をもたらす線状降水帯の発生メカニズムや猛烈な雨の発生数の増加具合に対しては参加者の関心

#### ✓ 1時間降水量80mm以上の年間日数（アメダス1300地点平均）



▲猛烈な雨の年間日数は、1975年に比べて1.7倍も増加し、災害発生増加が危惧されています（グラフ出典：福岡管区気象台）



▲当日は47人が参加。



▲参加者たちはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



▲ 正本研修部会長の御礼の挨拶中、ユーモアある言葉に会場が沸く場面も。

も高く、頷きながらメモを取る姿が見受けられました。

また、気象庁から段階的に発表される大雨に関する防災気象情報に接した場合「住民がとるべき行動」の判断基準となる警戒レベルの推移や、危険度分布（キキクル）等の利活用について、具体的災害事例を示しながらご説明頂きました。

当日は新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者全員消毒の徹底およびマスクを着用しての講演受講となりましたが、日々進歩する防災技術や知識を積極的に学び、今後も防災士としての見識を広げ深めていきたいと感じた研修会でした。

（博多支部 能瀬 純子）

## 東区市民総合防災訓練参加報告～東支部～

令和3年11月20日筥松小学校にて、東区市民総合防災訓練が実施されました。コロナ禍に於ける避難所運営の東区モデルとして今回は事前に訓練要領をビデオ撮影して、この日の避難所運営が



行われました。今後、東区各校区にビデオが配布されて、統一した運営がなされるよう改善が進むと思われます。

東支部は非常持出品の説明と重量体験を担当して、参加者の積極的な質問の応答に汗をかいていました。



（東支部長 城下 邦芳）